

扶桑町立山名小学校



< 1 月 1 5 日 >

日本モンキーセンターの主任学芸員・理学博士の高野智先生をお招きし、6年生理科の「からだのつくりとはたらき」の授業をT Tで行いました。

高野先生は、はじめに自分自身の骨のつくりを手で触れながら実感させ、その後に他の動物との違いに着目させ、自分と違うのはなぜなのかを考えさせる展開で授業を進められました。児童は、本物の頭蓋骨などの教材にぐいぐいと惹きつけられていきました。

先生からは、①児童の発達段階を考えた発問の大切さ、②実感できない部分は効果的に模型を使っていく方法を教えていただきました。

本物の教材がもつ力の大きさを改めて感じ、どの教科においても教材開発の重要性を学びました。